

## 倫理委員会議事概要

1. 開催日時 : 令和 7 年 6 月 19 日 (木) 13時30分～16時15分
2. 開催場所 : 当院大会議室
3. 出席者 : 院長、副院長、事務部長、看護部長、薬剤科長、管理課長、古川委員 (外部委員)  
※薬剤科長は受付番号7-1の申請者であるため、受付番号7-2より委員として出席。
4. 審議議題 : 以下の受付番号「7-1」から「7-10」の課題につき、別添申請書に基づいて申請者から研究内容の説明があり、委員からの質疑の後、審議結果となった。

受付番号 「7-1」

課題名 「病棟医療従事者による病棟薬剤師の役割の把握状況と満足度の比較検討」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 薬剤科長 吉田 和美

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・過去に実施済みの仙台医療・弘前総合医療・盛岡医療・米沢病院の共同研究に当院結果を追加し、対比検討するものであるため、関係者として仙台医療センターの副薬剤部長が記載されている。
- ・アンケート依頼文書に倫理的配慮の記載あり (時間的・精神的負担あり、任意であること)。

審議のため説明者 (申請者: 吉田薬剤科長) 退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「7-2」

課題名 「受け持ち性を重視した看護体制の再構築に向けた職員の意識調査」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 副看護師長 阿部 いずみ

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・調査方法が多肢選択式ではなく自由記載式となっているため、結果分析において、結果をどのようにカテゴライズするのか検討されたい。

審議のため説明者 (申請者: 阿部副看護師長) 退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「7-3」

課題名 「昼夜逆転傾向にある患者の夜間の睡眠確保とてんかん発作との関係性の調査」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 看護師 外川 真衣

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・同意書の代諾者名が活字となっている。ケーススタディであり、電話で応諾をもらっているとしても、直筆で署名をもらう必要がある。対面以外であれば郵送して署名の上返信してもらうこと。その後に研究を開始されたい。

審議のため説明者（申請者：外川看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に直筆署名の同意書を得、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-4」

課題名 「慢性期病棟における高齢患者への口腔ケアの意識向上への取り組み」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 看護師 菊池 希知子

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・アンケートは介入の前後で同一のものを使用し、変化率を見ることはよいが、アンケートにある回答者の属性（看護経験年数、現在の病棟の在籍年数）を記載させるところが個人の特定に繋がるので、幅をもたせた選択式にすること。

審議のため説明者（申請者：那須看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前にアンケートの回答者属性項目を修正し、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-5」

課題名 「嚥下障害がある進行性核上性麻痺患者へのマッサージを取り入れた口腔ケアの取り組み」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 看護師 佐々木 杏純

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・誤嚥性肺炎の予防としての舌上顎下顎マッサージによる口腔ケアの実施による

検証は評価すべき課題であるため、しっかりとデータを残されたい。

- ・同意書について、電話で応諾をとり、研究者が記入とのことであるが、直筆で署名をもらう必要がある。対面以外であれば郵送して署名の上返信してもらうこと。その後に研究を開始されたい。

審議のため説明者（申請者：佐々木看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に直筆署名の同意書を得、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-6」

課題名 「ベッド柵の上げ忘れに関する事態調査及びスタッフの意識調査」

申請者名： 国立病院機構釜石病院 看護師 藤元 佳華

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・看護研究計画書の研究の背景の記述において、時期は年月だけでなく日も記載すること。また、対応策としてのチェーン導入の時期を考慮した上での件数比較に修正すること。
- ・アンケートにある回答者の属性（看護経験年数、現在の病棟の在籍年数）を記載させるところが個人の特定に繋がるので、幅をもたせた選択式にすること。
- ・また、意識調査の設問1. については、「最も意識していること」を選択する形式だが、意識実態の把握のため複数回答可とし、回答数を集計することで結果をより細かく可視化できるようにすること。

審議のため説明者（申請者：藤元看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に研究計画書の文言を整理し、アンケートの回答者属性項目及び意識調査の設問1. を修正し、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-7」

課題名 「重症心身障がい者に対する口腔ケアについて」

申請者名： 国立病院機構釜石病院 看護師 菅原 由貴

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・看護研究計画書の研究の背景に、ケーススタディであることが具体的に分かる記述を織り込み修正すること。
- ・同計画書の研究方法における倫理的配慮に、同委はご家族に電話または書面にて同意を得ると記載されているが、代諾者の直筆の署名がある書面で得ること。

審議のため説明者（申請者：菅原看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に研究計画書の文言を整理し、直筆署名の同意書を得、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-8」

課題名 「弄便によりつなぎ服を着用している強度行動障がい患者への身体拘束解除に向けたアプローチ」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 駒込 姫乃

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・研究課題名および説明書の「」内の標記を適切な言葉を用いて明解なものに修正すること。
- ・同意書について、電話で代諾をとり、研究者が記入したとのことであるが、代諾者の直筆の署名をもらうこと。その後に研究を開始されたい。

審議のため説明者（申請者：駒込看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に研究課題名を修正し、直筆署名の同意書を得、決裁により委員会の承認を受けること。

受付番号 「7-9」

課題名 「褥瘡予防におけるポジショニングの理解と実践」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 佐藤 恵子

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・患者本人から同意を得ることが困難である場合は、ご家族に丁寧に説明し、同意を得ること。

審議のため説明者（申請者：佐藤看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「7-10」

課題名 「拘縮が見られる患者に対する安楽に向けたポジショニング支援」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 木下 結井

質疑内容

- ・申請内容について説明

- ・看護研究計画書の研究の背景及び研究の意義に、現状日々苦慮していることの詳細例を織り込み修正すること。
- ・本人から同意を得ることが困難であるとのことなので、ご家族に丁寧に説明し、同意を得ること。

審議のため説明者（申請者：木下看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に研究計画書の文言を整理し、決裁により委員会の承認を受けること。